

日本伝統音楽研究センター 第36回公開講座 (2013(平成25)年度第1回)

にし うれ でん がく

西浦田楽

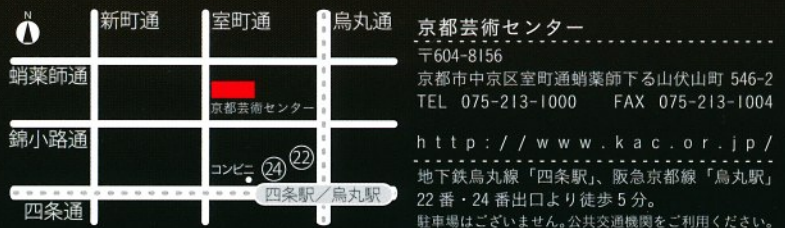
伝承の現在と未来

毎年旧正月18日、浜松市天竜区水窪町西浦では「観音の祭(=西浦田楽)」が夜を徹しておこなわれます。神楽、田楽、田遊び、猿楽能等が次々と奉納され、その多彩さは芸能史的にも大きな価値をもっています。観音の祭を遂行するのは「能衆」と呼ばれるメンバーです。村の人口が減少していく中、能衆たちは、日頃から練習を重ねる等、伝承への努力を惜しみません。そして今も、精進潔斎して祭にのぞみます。本講座では、祭の調査に長年かかわってきた研究者の講演を織りこみつつ、能衆らによる「観音の祭」を部分的に再現します。講座を通じて、日本における祭礼や伝統芸能の伝承の未来を考えたいと思います。

日時 平成25年 **11月9日(土)** 午後2時~午後6時 (午後1時半 受付開始)
場所 京都芸術センター フリースペース(京都市中京区室町通蛸薬師下る)
参加費 1,000円 **定員** 150名(要予約) ※定員に達した場合は締切ります
内容 企画構成 藤田隆則(日本伝統音楽研究センター教授)

学術講演 細馬宏通(滋賀県立大学)・・・西浦田楽の時空間と身体
菅原和孝(京都大学)・・・西浦田楽の伝承および身体技法の変容

祭の奉納 能衆(西浦田楽保存会)・・・
地能：庭ならし、御子舞、麦つき・田うち、水口、高足もどき、
鶴の舞、出体童子、鳥追い、早乙女、田楽舞
はね能：しんたい、くらま、狸々、弁慶



申込方法

はがき、FAX、電子メールのいずれかの方法により、①郵便番号、②住所、③氏名、④電話番号(FAX番号)、⑤「第36回公開講座」をご記入の上、お申込みください。

申込先 京都市立芸術大学 教務学生支援室(事業推進担当)
問い合わせ先 〒610-1197 京都市西京区大枝掛掛町13-6 電話/075-334-2204 FAX/075-334-2241 E-mail/public@kcu.ac.jp

主催：京都市立芸術大学 共催：京都芸術センター